



新工SPH通信

VOL.78

新潟県立新潟工業高等学校
SPH推進委員会
平成30年12月14日
Community cooperation

平成30年8月24日(木)工業化学科の2年生は、市内の廃棄物処理関連の施設並びに企業見学を実施しました。午前中は本校から数キロの圏内にあり、最新の焼却施設を保有した新潟市が設置する西区新田清掃センターを見学しました。午後は廃棄物リサイクル、特殊清掃、管更正を初めとして幅広く環境事業に取り組む青木環境事業(株)を見学しました。



【午前の部：西区新田清掃センター】

講義・ビデオ「施設概要」栗山さん

施設見学 処理施設（焼却施設、破碎施設、発電設備）栗山さん



【午後の部：青木環境事業(株)】

講義・ビデオ「会社概要」「当社の社会的な位置づけと当社の取り組みについて」

見学 施設全般（焼却炉、廃棄物保管場所、高圧洗浄車、水素ステーション）

【生徒の感想】

- 多くの会社や施設等が連携して廃棄物が処理されていることが分かった。
- 施設内では廃棄物がさらに多くの分類に従って分別されていることが分かった。
- 会社では環境計量士の方が適正な廃棄物処理に関わっている事が分かった。
- 「循環型社会」についてよく理解することができた。
- 地球にやさしい会社であることを実感した。自分も将来、社会に貢献できる職業に就きたい。

【生徒の変容と身についた力】

- 「廃棄物処理」という仕事とは、廃棄するだけの一方通行の処理をすることではなく、低炭素社会、循環型社会形成のための重要な役割を担っていることを実感することができた。
- 燃焼によって発生する有害物質が、環境に与える影響を最小限にするため、様々な工夫や最先端の科学（化学）技術が取り入れられている事を理解することができた。